

メディカルフォトニクス研究センター
基盤光医学研究部門
光イメージング研究室

1 構 成 員

	平成 26 年 3 月 31 日現在	
教授	0 人	
病院教授	0 人	
准教授	1 人	
病院准教授	0 人	
講師（うち病院籍）	0 人	(0 人)
病院講師	0 人	
助教（うち病院籍）	0 人	(0 人)
診療助教	0 人	
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	0 人	
医員	0 人	
研修医	0 人	
特任研究員	1 人	
大学院学生（うち他講座から）	0 人	(0 人)
研究生	0 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	0 人	
その他（技術補佐員等）	1 人	
合計	3 人	

2 教員の異動状況

矢尾 育子（准教授）（H25.7.1～現職）

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 25 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	3 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	5.68	
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	0 編	
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	3 編	(2 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(4) 著書数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Romero-Pérez GA, Inoue R, Ushida K, Yajima T: A rapid method of screening lactic acid bacterial strains for conjugated linoleic acid production, Biosci Biotechnol Biochem, 77, 1-3, 2013 [1.269]

インパクトファクターの小計 [1.27]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. Lu JI, Yao I, Shimojo M, Katano T, Uchida H, Setou M, Ito S: Identification of nitrated tyrosine residues of protein kinase G-I α by mass spectrometry, Anal Bioanal Chem, 406, 1387-1396, 2014 [3.659]

2. Rodriguez-Lecompte JC, Romero-Pérez GA, Ramirez-Yañez G, Ask K, Gauldie J: Adenoviral-mediated gene transfer into bone marrow: an effective surgical technique in rat. Eur Surg Res, 50, 282-291, 2013 [0.750]

インパクトファクターの小計 [4.40]

(2-1) 論文形式のプロシーディングズ

(2-2) レター

(3) 総説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 矢尾育子: 脳内物質のイメージング質量分析, JSBMS Letters, 38, 41-46, 2013 [0]
2. 矢尾育子, 伊藤誠二: 神経科学領域における質量分析イメージング, 臨床化学, 42:332-337, 2013 [0]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. Eriksson C, Masaki N, Yao I, Hayasaka T, Setou M: MALDI Imaging Mass Spectrometry-A Mini Review of Methods and Recent Developments, Mass Spectrom (Tokyo), 2(Spec Iss):S0022, 2013 [0]

(4) 著書

(5) 症例報告

4 特許等の出願状況

	平成 25 年度
特許取得数（出願中含む）	0 件

5 医学研究費取得状況

（万円未満四捨五入）

	平成 25 年度	
(1) 文部科学省科学研究費	3 件	(1190 万円)
(2) 厚生労働科学研究費	0 件	(0 万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0 件	(0 万円)
(4) 財団助成金	0 件	(0 万円)
(5) 受託研究または共同研究	2 件	(1052 万円)
(6) 奨学寄附金その他（民間より）	0 件	(0 万円)

(1) 文部科学省科学研究費

1. 矢尾育子（代表者）、若手研究(A)、ユビキチンリガーゼ S C R A P P E R による細胞内輸送制御機構の解明、680 万円（継続）
2. 矢尾育子（代表者）、新学術領域研究、質量分析イメージングによる脳内環境の可視化、500 万円（継続）
3. 矢尾育子（分担）、基盤研究(B)、イメージングマスペクトロメトリーのための統計解析法の開発、10 万円（継続）

(2) 厚生労働科学研究費

(3) 他政府機関による研究助成

(4) 財団助成金

(5) 受託研究または共同研究

1. 矢尾育子（代表者）、質量顕微鏡法による神経伝達物質のイメージング、（JST さきがけ）、752 万円（継続）
2. 企業 1 件、300 万円

6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表，総括

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件	7 件
(2) シンポジウム発表数	0 件	1 件
(3) 学会座長回数	0 件	0 件
(4) 学会開催回数	0 件	0 件
(5) 学会役員等回数	0 件	1 件
(6) 一般演題発表数	1 件	

(1) 国際学会等開催・参加

- 1) 国際学会・会議等の開催
- 2) 国際学会・会議等における基調講演・招待講演
- 3) 国際学会・会議等でのシンポジウム発表
- 4) 国際学会・会議等での座長
- 5) 一般発表

口頭発表

ポスター発表

1. **Yao I.**, Matsumura S, Katano T, Yamagata K, Imoto S, Ito S: Synaptic localization of CaMKII in the spinal dorsal horn of kinase-dead knock-in mouse in the maintenance of neuropathic pain, the 43rd annual meeting of the Society for Neuroscience, 2013/11, (USA)

(2) 国内学会の開催・参加

1) 主催した学会名

2) 学会における特別講演・招待講演

1. 矢尾育子、質量顕微鏡による 生体分子イメージング、第 14 回高分子 MS 研究会、吹田、2013/5
2. 矢尾育子、MALDI イメージング質量分析による病態分子イメージング、第 142 回 質量分析 関西談話会、大阪、2013/8
3. 矢尾育子、質量分析イメージングによる脳情報の可視化、第 38 回医用マススペクトル学会、神戸、2013/9
4. 矢尾育子、質量分析を利用したアセチルコリン局在の可視化について、滋賀医科大学実験実習支援センターセミナー/認知症セミナー(兼 大学院講義)、大津、2013/12
5. 矢尾育子、質量顕微鏡による生体分子イメージングへの取り組み、平成 25 年度奈良先端未来開拓コロキウム、生駒、2013/12
6. 矢尾育子、第 3 回東北脳科学ウィンタースクール、仙台、2014/2
7. 矢尾育子、ユビキチンリガーゼ *Scraper* ノックアウトマウスの解析、新潟脳神経研究会特別例会、新潟、2014/2

3) シンポジウム発表

1. 矢尾育子、脳内物質の質量イメージング、第 38 回医用マススペクトル学会、神戸、2013/9

4) 座長をした学会名

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

矢尾育子、日本医用マススペクトル学会、評議員

8 学術雑誌の編集への貢献

	国 内	外 国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0 件	0 件

(1) 国内の英文雑誌等の編集

(2) 外国の学術雑誌の編集

(3) 国内外の英文雑誌のレフリー

1. 矢尾育子、ACS Chemical Neuroscience (USA) 1 回
2. 矢尾育子、PLOS ONE (USA) 1 回
3. ロメロ グスタボ、Journal of Animal Science (USA) 1 回
4. ロメロ グスタボ、Bioscience, Biotechnology and Biochemistry (日本) 2 回
5. ロメロ グスタボ、Lipids (USA) 1 回

6. ロメロ グスタボ、Process Biochemistry（オランダ） 2回
7. ロメロ グスタボ、Tropics（日本） 2回

9 共同研究の実施状況

	平成 25 年度
(1) 国際共同研究	2 件
(2) 国内共同研究	10 件
(3) 学内共同研究	1 件

10 産学共同研究

	平成 25 年度
産学共同研究	2 件

1. 矢尾育子、企業 2 件

11 受賞

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

13 この期間中の特筆すべき業績，新技術の開発

14 研究の独創性，国際性，継続性，応用性

15 新聞，雑誌等による報道

1 件、さきがける科学人： 矢尾 育子 研究者（脳情報の解読と制御）

「脳をいつまでも健康に 記憶や老化の謎を解く」JST ニュース 2013. 10 月号